

# 算数少人数数学級だより No.4

H30. 7. 5

新神田小学校 算数少人数担当

7月に入り、大変暑い日が続いていますが、どの子どもも暑い中、一生懸命学習に励んでいます。

5月中旬からの単元について、子どもの様子、学習の成果と課題についてお知らせいたします。

## 【4年生】わり算のしかたを考えよう(わり算の筆算)・・・全16時間

### 「つるぎコース」

多くの児童が筆算に手順を習得し、間違えず取り組めるようになりました。「たて・かけ・ひく・おろす」をしっかり身につけ、間違えず筆算できる子どもが大変増えました。商が百の位から立つのか、十の位から立つのかが分かるようになりました。商が正しいかどうかを検算で確かめる習慣を身につけてほしいです。

### 「はくたかコース」

九九の計算がしっかり身につけており、筆算で途中で「割り切れる、これ以上割り切れなくなったときに0を立てる」という手順が定着した子どもがたくさんいました。

### 「かがやきコース」

学習を積み重ねていくことで、わり算の筆算を間違えず、正しく行う力が定着しました。「たてる→かける→ひく→おろす」の合い言葉を使い、筆算を説明する活動にたくさん取り組みました。ときどき、商を立てる位を間違えてしまう子どもがいたので、今後一つ一つ確かめながら順番に計算していくよう指導していきます。

256÷4の筆算のしかた

百の位の計算  
2÷4だから、百の位に商はたたない。

十の位の計算  
25÷4で、十の位に商6をたてる。  
25÷4=6あまり1

一の位の計算  
6をおろす。  
16÷4で、一の位に商4をたてる。  
16÷4=4

## 【5年生】小数のかけ算を考えよう(小数のかけ算)・・・全12時間

### 「クジラコース」

整数での計算が基本になることを子どもたちと常に確認しながら計算を進めました。ミスが多かったのが小数点の移動について足跡を残して計算するよう伝え、内容の定着を図ることができました。筆算の仕方が分かることで嬉しそうな表情がたくさん見られました。

しかしながら、「イルカコース」と同様、問題を読んで数量関係を数直線に表し、どうしてそのような式になるかを説明する力が弱いと感じました。継続して数直線を書く活動に取り組んでいきます。

小数をかける筆算のしかた

- ① 小数点がないものとして計算する。
- ② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ、右から数えてうつ。

かける数が小数のときも、整数のときと同じように計算できるね。

### 「イルカコース」

小数をかけた場合、小数点をどこに打てばいいのか、自分たちで考えを出し合い、話し合うことがよくできていました。ただ、機械的に小数点を打つのではなく、「なぜそうなるのか？」を伝え合う活動がよくできていました。算数においても言語活動が大切であると感じました。これからもグループ学習・ペア学習を取り入れていきたいです。1より小さい数をかけると積も小さくなることの理解ができていました。

#### まとめ

小数をかけるかけ算では、1より小さい数をかけると、積はかけられる数より小さくなります。

かける数 < 1 のとき…積 < かけられる数  
かける数 = 1 のとき…積 = かけられる数  
かける数 > 1 のとき…積 > かけられる数

課題は数量関係を数直線で表す力の向上です。数直線に表すと式を容易に立てることができます。今後も数直線を書く活動を多く取り入れていきたいです。